

理科専通信 めだかの学校

平成30年 3月16日 発行
第12号

3月16日の暦 月齢28.2
日出6:20 日入18:18 月出5:41 月入17:02

向島中央小学校

理科専科 池田 立身

前号の理科クイズ：青空が半分ぐらいか見えず、太陽も雲の中に隠れていました。この時の天気は？

- ①くもり ②晴れ ③太陽が出ていたら晴れ

【正解：②晴れ】

「雲と天気の変化」については、5年生で学習します。その時、空にどのくらいの量で雲が出ていたら、「晴れ」または「くもり」になるかを学びます。空全体を「10」とした時、0から8までが「晴れ」、9から10が「くもり」なのです。理科クイズの場合は雲の量が5なので、「晴れ」ということになります。

さて、薄雲が出て太陽が見えていたとします。そういう場合は、はっきりと影が見える場合は「晴れ」、影が見えない場合は「くもり」とすることになっています。

○タンポポの種類

本格的な春が近づいて、野山でいろいろな花が見られるようになってきました。今回は、そのなかでもタンポポについて採り上げます。タンポポは春の花というイメージが強いのですが、一年中咲いています。でも、春になるとたくさん見られますね。

タンポポの種類は何種類あるのでしょうか？ 大ざっぱに言うと4種類です。それは、「セイヨウタンポポ」、「シロバナタンポポ」、「キバナタンポポ」、そして、「アカミタンポポ」です。



シロバナタンポポ（撮影地：三原市小泉町）

セイヨウタンポポは黄色い花が咲きます。名前の通り外来種で繁殖力が旺盛です。セイヨウタンポポの花の下にある「総苞片」(一般の花では顎に相当するもの)の部分が下に反り返っているのが特徴です。「アカミタンポポ」はセイヨウタンポポに似ていますが、やや小振りです。花が咲いた後の実が赤みを帯びているので、この名が付きました。アカミタンポポはヨーロッパから伝わって来たようです。



セイヨウタンポポ（撮影地：同上）

次に、在来種である「シロバナタンポポ」です。シロバナタンポポは西日本でよく見られるタンポポです。花はクリーム色をしていて、西日本に住む人達はタンポポと言ったらシロバナタンポポを思い浮かべる人が多いようです。「キバナタンポポ」は、花弁が黄色いタンポポの総称で、「トウカイタンポポ」や「カンサイタンポポ」、「ヤマザトタンポポ」、「モウコタンポポ」など、多数の種類があります。これらのタンポポは花が黄色で、セイヨウタンポポと似ていますが、「総苞片」の部分が反り返っていないので、そこで見分けるポイントですね。

近年、植物、動物を問わず、「外来種」が急増し、「在来種」の棲息を脅かしつつあります。それで、外来種のいくつかを「特定外来生物」に指定し、外来種の持ち込みや移動を禁止したり、伐採したりしているようです。初夏に山吹色の花を咲かせる「オオキンケイギク」は、その代表的なものです。きれいな花なのですがね……。外来種が繁茂することによって日本古来からある生物がなくなっていくのは残念なことです。



オオキンケイギク（撮影地：同上）

理科クイズ：月は、いつも同じ模様に見えています。そのわけは？

- ①月の自転と公転が一致しているから
②地球の自転と公転が一致しているから
③太陽の自転と公転が一致しているから



※正解は次号で